

静岡県東部地域の活性化を考える

2011年度のあゆみ

飛躍

CONTENTS

■ ごあいさつ	3
■ 2011年度のあゆみ	4
■ 特集Ⅰ	
ファルマバレープロジェクト特区指定を受ける	6
■ 特集Ⅱ	
環富士山で広域観光	8
■ 特集Ⅲ	
道路網が東部を拓く	10
■ 特集Ⅳ	
経済界発東部のグランドデザイン	12
■ 特集Ⅴ	
まちづくりに新テーマが登場	14
■ サンフロンから情報発信	
ラジオEAST	16
新聞特集記事「風は東から」	17
■ 2012年度活動方針	18
■ サンフロン21懇話会会員名簿	20
■ 運営委員長挨拶	27

ごあいさつ



サンフロン21懇話会
代表幹事
スルガ銀行社長

岡野光喜

2011年度は日本全体が東日本大震災からの復旧、復興に追われました。大津波による原発事故をきっかけとしたエネルギー問題、消費税の税率アップも時代の転機をうかがわせる動きといえそうです。

このうち爆発事故が発生した原発の現状は1年以上たった今も、深い闇の中にあります。エネルギー問題は国家の在りようを左右します。東京電力管内にある静岡県東部地域にとっては、企業活動や暮らしに直結する電力の供給にかかわるだけに事態は深刻です。

サンフロン21懇話会は今年、設立18年目を迎えました。昨年度、伊豆、東部、富士の各地区分科会で取り上げた観光と食文化、交通ネットワークなどのテーマは常に意識していた問題です。社会環境の変化に対応したパラダイム・シフトが強く求められています。

ここ数年、活動方針に掲げてきた広域行政やファルマバレープロジェクトの推進支援、コンベンション機能の多角化、富士山周辺の観光連携の促進は、いずれもが県東部にとって尽きることのない課題です。本年度も一つでも多くの有意義な提言、提案ができますよう会員皆様方のご支援、ご協力をお願いします。



静岡新聞社・静岡放送
社長

松井 純

4月14日、御殿場－三ヶ日間の新東名162^{キロ}が開通しました。来年の富士山世界文化遺産登録に向けた作業が本格化しています。伊豆縦貫道の整備、伊豆半島のジオパーク（貴重な地形や地質などを楽しめる大地の公園）も認定に向け、動き出しています。

本県、特に県東部地域は今、追い風の中にあります。会員一人ひとりの創意工夫と地域への熱い情熱をこれからも存分に発揮していただき、県東部の活性化への取り組みをこれまで以上に深めていただきたいと思います。

サンフロン21懇話会は提言団体としての機能を大いに発揮し、昨年までの設立17年間で11件の提言を県や関係自治体に提出することができました。これも会員皆様方のご支援、ご協力があればこそと感謝する次第です。ありがとうございます。

昨年の東日本大震災では家族や地域の絆の重要性が繰り返し強調されました。東海地震の発生が予想される本県にとっては、決して他人事ではありません。人と人とのつながり、連携、ネットワークを強化するためにもサンフロン21懇話会の存在が何らかの形でお役に立てればと思っています。

2011 年度のあゆみ

県地震防災センター・
地震防災アドバイザー
小沢 邦雄

「東日本津波災害の教訓—
東海地震にどう生かすか」



日本獣医師会会長
動物臨床医学研究所理事長
山根 義久

「人と動物の共生—
目指せ真の成熟社会」



プロサッカー指導者
佐々木則夫

「佐々木流 人材育成術」



静岡県知事
川勝 平太

県東部の将来像～「場の力」
生かし美しい地域づくりを



県交通基盤部道路局長
野知 泰裕

「ふじのくに交通ネットワーク
ビジョン」



食環境ジャーナリスト
金丸 弘美

「スローフードで地域再生～
イタリアを例に」



岡山大大学院教授
土居 弘幸

「ファルマバレーと地域の活性化」



2011年度活動方針

- ・広域行政の推進支援
- ・ファルマバレープロジェクトの推進支援
- ・コンベンション機能の促進
- ・富士・箱根・伊豆を束ねた広域観光の促進

◆2011年5月 合同会議

幹事・運営委員と県東部選出県議団・市長町長連絡会議との合同会議が行われた。運営委員長の井口賢明あさひ総合法律事務所長から、広域行政の推進支援▽ファルマバレープロジェクトの推進支援▽コンベンション機能の促進▽富士・箱根・伊豆を束ねた広域観光の促進—の新年度活動方針案が示された。また、井口委員長は「沼津市と三島市を中心にした広域行政の実現に向け、経済団体などと協調し東部のグランドデザインづくりに着手する」と説明した。

議事終了後には、県地震防災センター・地震防災アドバイザーの小沢邦雄氏による講演が「東日本津波災害の教訓—東海地震にどう生かすか」をテーマに行われた。

◆2011年6月 活動記録「飛躍」発行

2010年度の活動内容をまとめた冊子「飛躍（A4判、28頁）」を発行した。内容は総会、分科会など活動の足跡をはじめ、ファルマバレープロジェクト10年のあゆみ、観光圏をはじめとする広域での観光連携、12年の歴史に幕を閉じたキラメッセぬまづなど。2011年度の活動方針も紹介した。

◆2011年6月6日 160人出席 総会

年1回の総会には、会員の企業経営者や首長、県議ら約160人が出席した。広域行政やファルマバレー

ープロジェクト、コンベンション機能の促進、観光振興を軸にした本年度の活動方針が承認された。井口賢明運営委員長が、沼津市と三島市がけん引役になった広域行政の実現に向け、経済団体とともに東部のグランドデザインづくりに着手することなどを説明した。議事後、川勝平太知事が記念講演を行った。

◆2011年6月22日 県に「動物の愛護と福祉のセンター（仮称）の推進」を提言

動物愛護に関する研究や普及活動に力を入れる公益財団法人動物臨床医学研究所（本部・鳥取県、理事長・山根義久日本獣医師会会長）が伊豆の国市のスポーツワールド跡地に動物の保護や関連する教育、福祉の拠点施設「動物の愛護と福祉のセンター（仮称）」を計画している。懇話会はファルマバレープロジェクトの一環として、同センターの推進を県に提言した。岡野光喜代表幹事や松井純静岡新聞社・静岡放送社長ら懇話会の代表者が県庁を訪れ、川勝知事に計画への協力を求めた。

◆2011年7月20日 160人出席 伊豆地区分科会

伊豆地区分科会では6月に懇話会が県に提言した内容を受け、伊豆の国市内に構想されている「動物の愛護と福祉のセンター（仮称）」による伊豆地域の振興について考えた。

◆2011年11月28日 140人出席 東部地区分科会

民間や行政の会員約140人が参加し、県が策定中の「ふじのくに交通ネットワークビジョン」を軸に、道路網整備による物流や交流の促進がもたらす地域振興について考えた。

「道路が拓（ひら）く新時代～描け東部のネットワーク」をテーマにしたパネル討論は、コーディネーターとパネリスト3氏が新東名や伊豆縦貫道などによる道路網の可能性とそれを引き出すための方策を意

見交換した。

◆2011年12月15日 120人出席 全体会

講師にプロサッカー指導者で、なでしこジャパン監督の佐々木則夫氏を迎え「佐々木流 人材育成術」と題した講演を行った。全体会に先立つ運営委員会で、2012年度活動方針について協議した。

◆2012年2月27日 150人出席 富士地区分科会

「食文化と観光の融合～目指せ、環富士山フードツーリズム王国」をテーマに地域の食と観光を結び付けた地域活性化について意見交換した。

食環境ジャーナリストの金丸弘美氏が「スローフードで地域再生～イタリアを例に」と題して基調講演した。イタリアのNPO「スローフード協会」の活動を紹介し、大量生産ではなく、多様な味覚の文化を大事にした中山間地の農家レストランが外国人観光客を呼び込んでいる事例などを示した。

パネル討論は、観光振興などに携わるパネリスト3氏が食を生かした活性化の可能性などを語り合ったほか、富士地区の取り組みへの提案も示した。

◆2012年3月28日 合同会議

幹事・運営委員と県東部選出県議団・市長町長連絡会議との合同会議が開かれた。約50人が参加し、広域行政の推進支援など2012年度の活動方針案を報告した。

運営委員長の井口賢明あさひ総合法律事務所長は、新年度活動方針案として広域行政やファルマバレープロジェクトの推進支援、コンベンション機能の多角化や富士山周辺の観光連携の促進を示し、賛同を得た。

議事終了後には、県ファルマバレー技術顧問でサンフロント21懇話会アドバイザーの土居弘幸・岡山大大学院教授が「ファルマバレーと地域の活性化」の題で講演した。

特集Ⅰ ファルマバレープロジェクト特区指定を受ける

県立静岡がんセンターを核に、医療城下町（医療健康産業クラスター）の形成を目指すファルマバレープロジェクトは、昨年から第3次戦略計画に移行しました。これまでの画期的ながんの診断薬や治療薬、医療機器の開発に力を入れた成果が認められ、昨年12月、国から「ふじのくに先端医療総合特区」に指定されました。



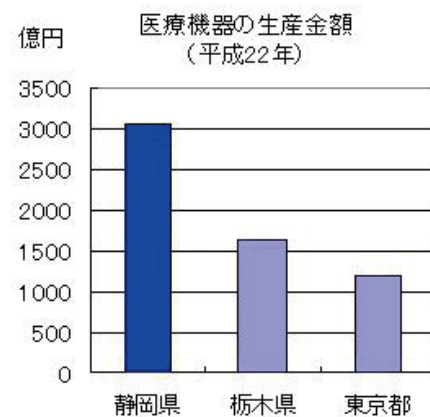
より具体的な中小企業支援へ

ファルマバレープロジェクトは昨年4月から第3次戦略計画（2011～20）が始まりました。1次、2次の計画を踏まえ▽ベッドサイドのニーズに応えるものづくり▽医療と産業を担うひとづくり▽健康サービスが充実し高次都市機能が集積したまちづくり▽世界展開の推進の4つを柱に、医療健康産業クラスターの形成をより一層進めています。

特に力を入れるのが、医療系ものづくりに参入を希望する地域の製造業への支援策。同プロジェクトを中心となって進めるファルマバレーセンターは「医療機器開発のための人材育成」や「販路拡大支援」を精力的に行っています。

開始から10年が過ぎ、医療品製造102施設、化粧品・医薬部外品製造179

施設、医療機器製造90施設、医薬関連研究所8施設の合計379施設と、県内には多くの医療関連企業が進出しています。医薬品・医療機器生産額は8,317億円と全国1位（2010年・医療機器1位、医薬品2位）です。特に医療機器は2005年に比べて2倍になりました。



区分	生産金額	全国比
1位 静岡県	3,069	17.9%
2位 栃木県	1,629	9.5%
3位 東京都	1,204	7.0%
全国	17,134	100%

単位：億円
出典：「薬事工業生産動態統計年報」
（厚生労働省）

ふじのくに先端医療総合特区に指定

総合特区制度とは、国の「新成長戦略」実現のために内閣府が設ける制度。実現の可能性が高い区域を国が指定し、指定された地域ごとに規制の特例措置や税制・財政・金融上の支援措置などが受けられます。

ふじのくに先端医療総合特区では、革新的ながん診断装置・診断薬の研究開発の拠点化を進め、国際競争力のある製品を迅速に世界へ提供することにより、がん医療を飛躍的に発展させます。また、医療機

器や部品・部材を提供する地域企業による産業クラスターを形成し、地域企業の活性化と雇用創出を目指します。これにより、県は5年後の経済効果を2,200億円、5,000人の新たな雇用創出を見込んでいます。

現在、県は国に、地域企業の医療健康産業への参入や医療関連製品の開発を推進するための規制緩和、財政上の支援措置などを提案し、協議を行っています。今年3月には、以下の2項目が国から承認されました。



■革新的ながん診断薬や診断装置の開発が期待される



国に承認された支援措置

①金融支援：総合特区支援利子補給金

医療関連の新商品・技術開発などを行う企業などの融資金利が、5年間最大0.7%優遇される利子補給

②財政支援：課題解決型医療機器開発支援事業（支援額：1億円）

地域企業、医療機関などが連携して実施する研究開発費の支援

総合特区の対象となるのは県東部の12市町（※）。今年2月には、対象地域の産学官に金融機関を加えた計47団体による「ふじのくに先端医療総合特区地域協議会」が結成されました。

現在、県・ファルマバレーセンターでは国に対する支援策のアイデアを募集しています。

※沼津・三島・富士・富士宮・御殿場・裾野・伊豆・伊豆の国市、小山・長泉・清水・函南町



■地域協議会会合の様子

富士山静岡空港を伊豆への誘客につなげるために、広域的な視点での観光戦略が必要とのことから、サンフロント21懇話会は静岡・山梨・神奈川3県の広域連携の強化を目指しています。その一環で、富士地区分科会は「環富士山」の食をメインにした連携の方法を模索しました。



環富士山で連携を模索

富士地区分科会 2012.02.27

テーマ 「食文化と観光の融合～目指せ環富士山フードツーリズム王国」

要旨

地域の食と観光を結び付けた地域活性化について意見交換した富士地区分科会。食環境ジャーナリストの金丸弘美氏が「スローフードで地域再生～イタリ

アを例に」と題して基調講演後、パネル討論では、観光振興などに携わるパネリスト3氏が食を生かした活性化の可能性などを語り合いました。

- パネリスト
谷口せい子県観光顧問
大木貴之ワインツーリズムプロデューサー
田渕正人レイライン顧問（富士市・旅行業）
- コーディネーター
野村浩司静岡総合研究機構主席研究員



■田渕氏 ■大木氏 ■谷口氏 ■野村氏



富士山世界遺産に申請へ

今年1月に国の文化審議会文化財分科会は、2013年の世界文化遺産登録を目指している「富士山」（静岡、山梨両県）と「武家の古都・鎌倉」（神奈川県）を国連教育科学文化機関（ユネスコ）へ推薦することを了承しました。順調に進めば、夏から秋ごろにユネスコの諮問機関・国際記念物遺跡会議（イコモス）の現地調査が入ります。

世界文化遺産に登録されれば、富士山の裾野に健康増進と癒やしの地域が展開するというファルマバレープロジェクトの“絵姿”の具現化にも弾みがつきます。



パズルのピースが欠けたような富士山のマークは、「皆さんからの協力が最後のワンピースとなって美しい富士山は完成する」という意味が込められています。

進む伊豆ジオパーク構想

伊豆の一体感醸成に向け、「伊豆半島ジオパーク構想」が進んでいます。2009年に川勝平太知事が提唱しました。ジオパークは地殻変動や火山活動で生まれた地質的な見どころ（ジオサイト）を楽しむ自然公園のことで、2004年にユネスコの支援で世界ジオパークネットワークが設立され、日本からは室戸岬や洞爺湖有珠山を含む5つの地域が認定されています。

昨年3月、伊豆地域の7市6町（※）と県、観光協会、地元大学、NPO法人などが「伊豆半島ジオパーク推進協議会（会長・佃弘巳伊東市長）」を設立。伊東市役所内に事務局を置き、専任研究員を含め5人体制で

認定に向けたさまざまな活動を行っています。

今年は日本ジオパークへの加盟申請をする年です。また、世界ジオパークネットワークに認定されるには、日本ジオパークに加盟し、2年間の実績を積む必要があります。認定のポイントは、訪れる人にジオパークの魅力をきちんと伝えることができるかどうか。そのため、ジオサイトを案内するガイドの養成やガイドマップ、表示看板などの整備が求められます。

※沼津・熱海・三島・伊東・下田・伊豆・伊豆の国市、東伊豆・河津・南伊豆・松崎・西伊豆・函南町

世界ジオパークネットワークへの道筋（最短の場合）



	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
日本ジオパークネットワーク	会 員	会 員	会 員	会 員
	申請⇒審査⇒加盟			
世界ジオパークネットワーク	加盟への実績づくり	加盟への実績づくり	申請⇒JGN推薦⇒正式申請	現地審査⇒加盟



2012年4月14日、当初の予定が大幅に短縮され、新東名高速道路の御殿場JCTー三ヶ日JCT間162^{キロメートル}が開通しました。2013年には東駿河湾環状道路が函南町塚本インターまで開通します。交通ネットワークが飛躍的に高まることで東部の新たな可能性が広がります。



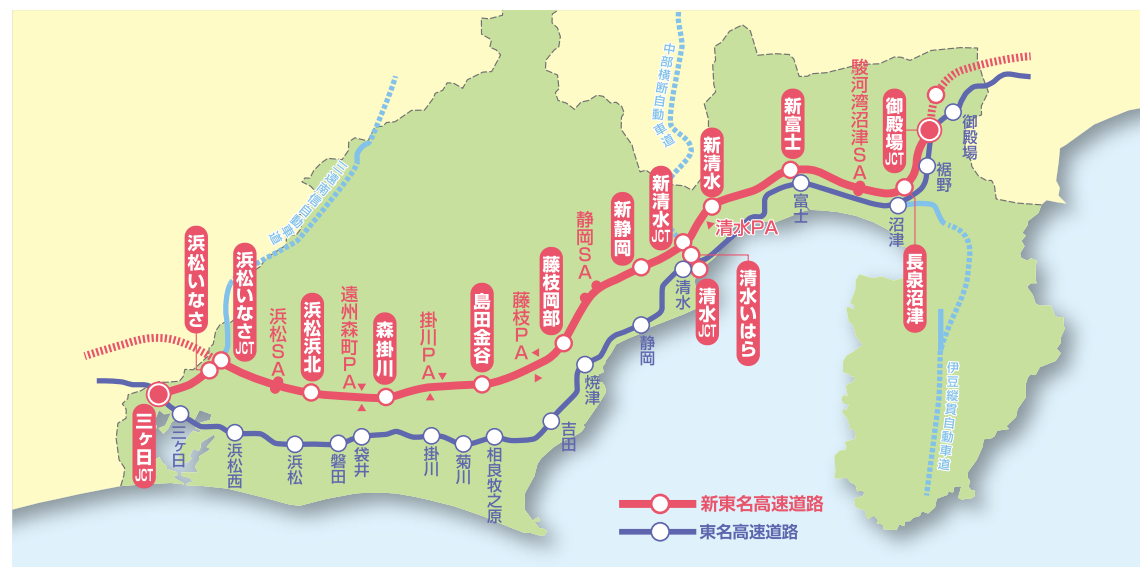
新東名の開通は「東海道の新時代の幕開け」

一度に162^{キロメートル}もの高速道路が開通することは、日本の高速道路開通史上最長。2014年度には浜松いなさJCTー豊田東JCTの約53^{キロメートル}が開通し、最終的には、20年度の伊勢原北ICー御殿場JCT間の開通で、海老名南JCTー豊田東JCT間の全長254^{キロメートル}の高速道路になる予定です。

現在の東名は、交通量が交通容量を大きく上回っており、交通集中による渋滞が多く発生しています。新東名が整備され、東名を利用している交通量が転

換・分散することで、渋滞が緩和し、高速性・定時性が確保されます。また、新東名は、東名と比べてカーブも坂道も緩やかなことが構造上の大きな特徴。直線に近い道路であり、運転時により安全で快適、さらにエコな走行が可能となっています。

インターチェンジ12カ所、サービスエリア6カ所、パーキングエリア7カ所が新たに設置されます。また、3カ所で東名と接続しています。

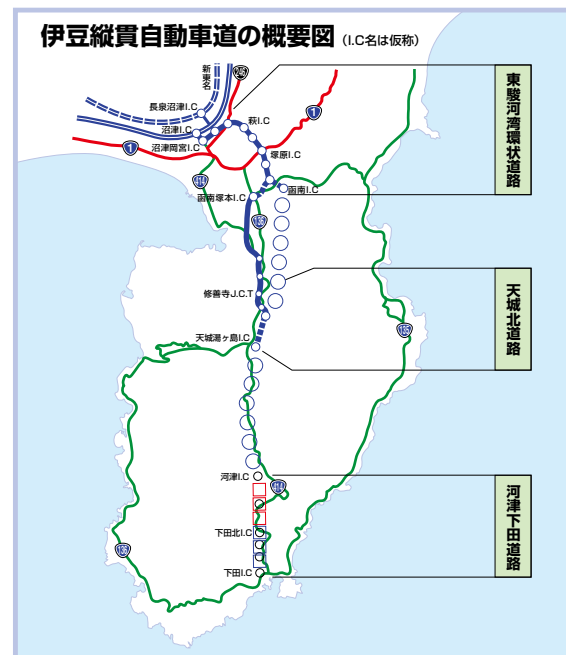


伊豆縦貫道の整備も着々

伊豆縦貫道は3カ所で整備が進んでいます。一つは沼津インターから東駿河湾環状道路、国道1号までの10^{キロメートル}区間。2009年度に開通し、13年に塚本まで開通します。

伊豆の中部、天城北道路は08年4月に修善寺から大平までが開通し、残る湯ヶ島までの整備が進んでいます。

南は河津下田道路13^{キロメートル}の区間。事業は1期と2期に分かれており、2期区間については国土交通省より新規採択路線ということで決定しました。1期区間については都市計画アセスメントを進めています。



道路ネットワークが拓く東部の将来像

東部地区分科会 2011.11.28

テーマ 「道路が拓く新時代～描け東部のネットワーク」

要旨

新東名や東駿河湾環状道路の整備が進む東部で、道路網の整備がもたらす地域振興について討論しました。谷口氏は「まちづくりと道はセットで考えるべき」と示唆。中島氏は「経済活動の重心が西に広がる、東名の複線化による企業立地の優位性の向上、物流機能を立地させる上で有利」と3つの視点を挙げました。また、渡辺氏は地域を元気にするために「地域全体のチーム力が欠かせない」と指摘しました。



●パネリスト

谷口博昭 芝浦工業大学大学院教授
中島寿志 静岡経済研究所専務理事
渡辺靖乃 三島商工会議所多極分担型地域検討特別委員会委員

●コーディネーター

青山茂 シード副社長（懇話会シンクタンクTESS研究員）



■谷口氏



■中島氏



■渡辺氏



■青山氏

「平成の大合併」が終わり、合併に至らなかった地域が目立つ県東部。行政主導の合併協議に限界もある中、経済圏・生活圏により即した「暮らしやすい」「安全、安心な」地域の将来像を求める声は依然強くあります。こうした背景から、東部のグランドデザインを描こうと経済界が立ち上がりました。

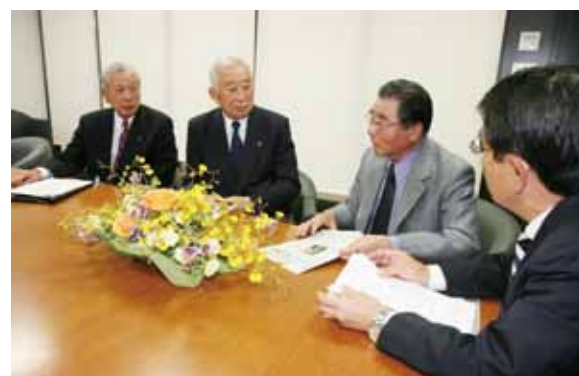


東部のグランドデザインを描く

2011年6月、静岡経済同友会東部協議会が呼び掛け、沼津商工会議所、三島商工会議所など10以上の経済団体からなる「東部地域グランドデザイン策定支援会」が発足しました。広域行政の推進支援を活動方針に掲げるサンフロント21懇話会もこの取り組みに賛同、「風は東から」で東部経済界が描くグランドデザインを2回にわたり取り上げました。

初回は、沼津商工会議所の市川厚会頭、三島商工会議所の諏訪部敏之会頭、静岡経済同友会東部協議会の赤堀肇紀代表幹事（当時）が三島市内で鼎談（ていだん）し、東部のグランドデザイン構築に向けたタイムスケジュールや組織体制などについて意見を交わしました。

続く2回目は同支援会に参画する沼津青年会議所の高木恵市理事長（当時）と三島青年会議所の井伊寛隆理事長（当時）をお迎えし、意気込みや具体的なアイデアを聞きました。



■左から赤池氏、諏訪部氏、市川氏、谷川氏



■高木氏



■井伊氏

サンフロント21懇話会 総会2011.06.06

—記念講演—

県東部の将来像～「場の力」生かし美しい地域づくりを

川勝平太静岡県知事



東部は、場の力として人を引きつけるパワーがある。それは伊豆の観光や、進展中のファルマバレープロジェクトなどに表れている。

同プロジェクトは第3次戦略計画に入り、「ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」「世界展開」の4つの戦略を進めている。

一方、統計では人口10万人あたりの医師の数は全国平均を下回っている。最先端のがんセンター

があるにもかかわらず、医療全体の人手不足は明らか。医学生の数も少く、下から数えた方が早い。ゆえに医学部はどうしても必要だ。幸い候補地は東部にいくつかあるので、しっかり誘致をしていきたい。

他方、観光面では自然景観を大切にしないといけない。伊豆半島も富士山のふもとの自治体も十分配慮しているとは言い難い。富士山の世界文化遺産登録もそろそろ射程に入ってきた。山梨側の富士五湖も一体になった、本県の柿田川も天然記念物になる。だが、残念なことに、周辺に統一感ある都市景観を築けていない。地元の市長、町長の責任として先進地に学ぶなどして取り組んでほしい。



セミナー「地域の未来像をどう描くか」開催

2012年2月には、静岡経済同友会東部協議会と県が、公開セミナー「地域の未来像をどう描くか」を開きました。基調講演とパネル討論を繰り広げ、同協議会が中心になって策定準備を進める県東部のグランドデザインの必要性をあらためて強調しました。

同グランドデザインの対象地域は沼津、三島、裾野、御殿場、伊豆、伊豆の国、小山、長泉、清水、函南の6市4町。策定作業は、同協議会とサンフロント21懇話会、対象地域の商工会議所、商工会、青年会議所が策定



支援会を組織して2011年6月にスタートし、2013年2月をめどにまとめることを目指しています。

東部全体のランドデザインを経済界が描く中、市町単位の地域づくりも進んでいます。今までのような重厚長大産業の誘致は影をひそめ、新たな価値観に基づくテーマが出てくるようになりました。伊豆地区分科会では、伊豆の国市に予定されている「動物の愛護と福祉のセンター（仮称）」を取り上げ、その課題と可能性を探りました。



動物との共生拠点を一伊豆の国市

伊豆地区分科会 2011.07.20

テーマ 「動物の愛護と福祉のセンター（仮称）」による伊豆地域の振興

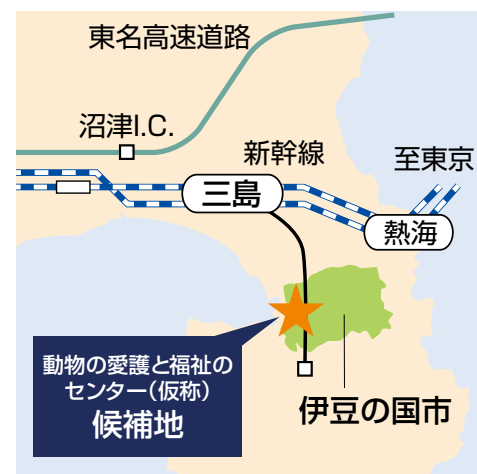
要旨

動物愛護に関する研究や普及活動に力を入れる公益財団法人動物臨床医学研究所（本部・鳥取県、理事長・山根義久日本獣医師会会長）が伊豆の国市のスポーツワールド跡地に動物の保護や関連する教育、

福祉の拠点施設「動物の愛護と福祉のセンター（仮称）」を計画しています。伊豆地区分科会は、動物臨床医学研究所の山根義久理事長の基調講演の後、パネル討論を行いました。



同センターは動物の愛護や医療研究に力を入れる公益財団法人動物臨床医学研究所による、人間と動物の共生のための拠点施設。飼えなくなった犬、猫を保護し、診療や獣医師の教育、啓発活動などを行う。候補地はスポーツワールド跡地。懇話会の推進提言を受け、川勝平太知事もファルマバレープロジェクトの一環として支援を表明している。



懇話会提言



■左から川勝知事、岡野代表幹事、松井社長

2011.06.22 県に「動物の愛護と福祉のセンター（仮称）の推進」を提言

懇話会はファルマバレープロジェクトの一環として、同センターの推進を県に提言しました。岡野光喜代表幹事や松井純静岡新聞社・静岡放送社長ら懇話会の代表者が県庁を訪れ、川勝知事に計画への協力を求めました。

「健康」核にまちづくりー三島市

少子高齢化で膨らむ社会保障費。どの自治体にとっても頭痛の種です。財政を圧迫する医療費を減らそうと、各自治体は市民の健康増進事業に熱心に取り組んでいます。「風は東から」は、「市民の健康」を単なる健康増進施策にとどめるのではなく、まちづくりの核に据えた三島市の取り組みを取材しました。

三島市は「スマートウェルネスシティ（健幸都市）構想」と「ガーデンシティ（庭園都市）構想」の2つをキーワードに、街自体を健康にする取り組みに着手。

スマートウェルネスシティ構想の柱は①市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくり②生涯を通じて社会参加・地域交流できるまちづくり③持続可能な健幸都市づくりの3つ。

また、ガーデンシティ構想では景観を整備し、歩きたくなる街並みにすることで市民が自然と健康になる仕掛けづくりを行っています。さらに、三島駅周辺にはこの2つの構想を具体化するような機能を盛り込む予定です。



■スマートウェルネスシティ・ガーデンシティのコアエリアとなる三島駅

沼津駅北コンベンション
施設名称決まる！



プラサ ヴェルデ
ふじのくに千本松フォーラム

国際会議場やホテル、展示イベント施設などで構成される多機能型コンベンション施設「東部コンベンションセンター」の名称が決まりました。施設名称は『ふじのくに千本松フォーラム』、

愛称は『PLAZA VERDE』（プラサ・ヴェルデ）。スペイン語で「緑の広場」を意味します。ロゴマークは、富士山と駿河湾を上下に配置し、中央に建築と千本松を合わせて表現しています。

ラジオ EAST

www.at-s.com/sbsradio/program/east/

SBS ラジオ 毎週土曜日
11:00 ~ 12:55

サンフロント21懇話会が母体となり、東部・伊豆の地域情報を2時間にわたりお送りする「Radio*East」。清水町の大型ショッピングセンター、サントムーン柿田川内に開設されたサテライトスタジオ「LISPA」は東部・伊豆の情報

発信、文化創造拠点としてにぎわいを見せています。

番組恒例の公開放送は全部で5回。各地のイベントや魅力スポット、地元でしか食べられないご当地グルメ情報などをお送りしています。



ラジオ EAST ホームページ

ホームページでは、番組で取り上げた話題を写真とテキストで紹介しています。「EASTたべちゃうぞ!」や「温泉へ行こう!」など、各コーナーはバックナンバーも充実。東部・伊豆にお出かけの際はぜひご利用下さい。

URL <http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>



新聞特集記事「風は東から」

www.sunfront21.org/

静岡新聞東部版・朝刊
毎月 第4日曜日掲載

東部地域の活性化に向けたさまざまな取り組みや、サンフロント21懇話会の活動の一端を毎月1回、新聞紙上で紹介する「風は東から」。

連載14年目を迎え、2011年度は経済界が考

える「東部のグランドデザイン」について二度特集を組みました。また、新東名をはじめとする道路網整備をテーマにした東部地区分科会や、新たなまちづくりのテーマを掲げた伊豆地区分科会など、懇話会活動も取り上げました。



サンフロント21 懇話会 ホームページ

懇話会活動がひと目で分かるホームページ。懇話会の設立趣旨・沿革をはじめ、新聞「風は東から」のバックナンバーや、1年間の活動をまとめた冊子「飛躍」などが閲覧できます。

URL <http://www.sunfront21.org/>



2012 年度活動方針

■ 広域行政の推進支援

東日本大震災の教訓の一つに市町の行政運営への広域的視点の重要性が挙げられる。特に住民の安全・安心を支える防災、医療、福祉は市町間で情報の共有化が必要であり、具体的な取り組みに向けた共通認識を醸成する。静岡経済同友会東部協議会の呼び掛けに応じた県東部10市町（沼

津、三島、御殿場、裾野、伊豆の国、伊豆市、小山、長泉、清水、函南町）のグランドデザイン策定作業にも商工会議所、商工会など地元経済団体と連携を継続し、広域行政に対する住民への啓蒙を図る。

■ ファルマバレープロジェクトの推進支援

県が昨年度、10年計画でスタートさせたファルマバレープロジェクト第3次戦略計画を踏まえ、研究開発の促進、健康産業の振興・集積に向け支援を継続する。ものづくり（医療健康産業を中心とした産業構造への転換）、まちづくり（健康サービスの充実で高次都市機能が集積し、快適で魅力ある都

市圏の形成）などに向け地域産業活性化を支援する。昨年ファルマバレーの一環として県に提言し、伊豆地区分科会で取り上げた人と動物の共生拠点「動物の愛護と福祉のセンター（仮称）構想」について交流人口の拡大や新産業創出の可能性を探り、実現に向け支援する。



■ コンベンション機能の多角化促進

県と沼津市がJR沼津駅北口に建設する県東部コンベンションセンターは2014年夏の完全開業に向け整備が本格化する。会議場（メイン会議室収容人数約1300人）、展示イベント施設（約3900平方メートル）、ホテル（11階建て、150室）を備える。コンベンション施設は経済効果以外に、都市のイメージアップ、ホスピタリティの醸成など社会的にも波及効果が大きい。アフターコンベンションも含め、人、モノがグローバルに行き交う「交流の時代」の新たな「顔」となるよう支援する。



■ 富士山周辺の観光連携の促進



2013年の富士山世界文化遺産登録、2015年の伊豆半島の世界ジオパーク（貴重な地形や地質を楽しめる「大地の公園」）が認定されれば、県東部に世界が認めた新たな価値が生まれる。富士山の世界文化遺産登録を前提とした「富士山世界遺産センター」設置も支援する。富士山や伊豆半島は県東部の一体感を養うには格好の地域資源であり、子どもたちがふるさとへの愛着を抱けるよう周知活動に取り組む。県が策定した新東名や東駿河湾環状道路などの交通ネットワークビジョンをさらなる観光交流の促進に、どうつなげるか模索する。

会員名簿

氏 名	会 社 名	役 職
相川 正宏	(株)クリエイト	代表取締役
青木喜代司	青木興業(株)	代表取締役
青山 茂	(株)シード	取締役副社長
秋山 佳彦	(株)秋山機器	代表取締役社長
秋元 久則	(有)静岡ビジネスサポート	代表取締役
秋山 勇雄	静岡新聞社	常務取締役
赤堀 肇紀	赤武エンジニアリング(株)	代表取締役社長
浅羽 愛子	あさば旅館涵翠閣	代表取締役
芦川 均	スルガコンピューターサービス(株)	代表取締役社長
芦川 勝年	沼津市商店街連盟	会長
芦川 敏洋	静岡県東部地域政策局	次長
綾部 恵市	(株)綾市商店	代表取締役社長
飯田 悦郎	飯田工業薬品(株)	代表取締役
伊海 剛志	(株)イカイ	代表取締役社長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長
池田 誠	池田病院	院長
石井 誠	(株)石井組	取締役副社長
石井 文弥	(一社) 伊東観光協会	会長
石井 良雄	東海自動車(株)	取締役社長
石井 大介	(株)富陽軒	代表取締役
石井 直樹	下田市	市長
石川雄一郎	石川建材工業(株)	代表取締役社長
石川 三義	社会福祉法人春風会	理事長
石川 眞	(株)丸石製作所	代表取締役
石川 征雄	(株)ミツイシ	代表取締役
石間 尚雄	(株)TOKAIケーブルネットワーク	常務取締役
石戸 安伸	静岡県東部農林事務所	所長
石山 隆治	静岡新聞社	常務取締役
磯田 悟	(独)都市再生機構 静岡東部特定開発事務所	所長
板倉 正	Knt ! 近畿日本ツーリスト(株)沼津支店	支店長
伊丹 秀之	(有)松韻	取締役社長
伊東 哲夫	伊東法律事務所	所長
伊藤 澄男	(有)澄企画	代表取締役
稲葉 常宏	スルガ総合保険(株)	代表取締役社長
稲葉やす子	静岡県総合健康センター	技監
稲田 精治	三島信用金庫	理事長
井上 善朗	静岡県下田土木事務所	所長
乾 朋義	(株)大村総業	代表取締役社長
岩崎 利洋	東タイ(株)沼津工場	工場長

氏 名	会 社 名	役 職
岩田 均	SBS マイホームセンター(株)	代表取締役社長
植草慎一郎	(株)康報社植草新聞店	代表取締役社長
植田 康大	静岡県下田財務事務所	所長
植田 勝智	(公財) 静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター	所長
植松 眞	(株)トーヨーアサノ	代表取締役
鵜澤 精一	熱海商工会議所	会頭
臼井 良太	臼幸産業(株)	代表取締役
内田 文喬	内田法律事務所	弁護士
内田 豪	(株)ダイナナ	代表取締役社長
内田 賢	静岡県富士土木事務所	所長
内山 義郎	スルガ銀行(株)	取締役
宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長
内野 敞太	大岡建設工業(株)	代表取締役
海野 和雄	静岡ガス(株)東部支社	常務執行役員東部支社長
遠藤 敏東	富士商工会議所	会頭
遠藤 忠男	(有)遠藤新聞舗	代表取締役
遠藤 茂美	日本ガス興業(株)	代表取締役社長
遠藤日出夫	長泉町	町長
大浦 孝雄	愛車の救急車(有)	代表
大野 数芳	(株)大野商店	代表取締役
大木 康雄	(株)関電工静岡支店	支店長
大儀 健一	国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所	事務所長
大橋 俊二	裾野市	市長
大山 邦雄	沼津市立病院	病院長
大村 義政	沼津埠頭(株)	代表取締役
大村 保二	沼津市商工会	会長
太田 長八	東伊豆町	町長
大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所所長
大石 人士	(一財) 静岡経済研究所	理事研究部長
大石 剛	静岡新聞社	常務取締役
大塩 秀樹	黄瀬川自動車学校	代表取締役社長
大嶽 正泰	(宗) 三明寺	代表役員
太田 貴久	(株)ブレーン	代表取締役
大須賀紳晃	静岡新聞社	編集局長
小笠原久幸	日本電気(株)沼津支店	支店長
小笠原一夫	宇徳通運(株)	代表取締役社長
岡野 光喜	スルガ銀行(株)	代表取締役社長
荻田 勝雄	富士急伊豆タクシー(株)	代表取締役会長
奥田 一	(株)静岡中央銀行	取締役社長

氏 名	会 社 名	役 職
刑部 治	(有)啓伸社刑部新聞店	代表取締役
小澤 誠	静岡新聞社・静岡放送	企画事業局長
小川 満	静岡放送	ラジオ局長
小滝 勝昭	富士信用金庫	理事長
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役
小原 佳裕	小原自動車工業(株)	代表取締役
貝原 敏哉	貝原司法書士事務所	代表者
影山 桓義	(株)影山運輸	代表取締役
影島 山弘	(株)黎明社	専務取締役
梶 充伸	静岡県東部健康福祉センター	所長
片山 劼	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長
片淵 典利	(株)港	代表取締役
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役社長
勝又 敏雄	(株)カジマヤ	代表取締役社長
勝又 安彦	(株)勝又新聞店	代表取締役
勝又 寛治	(株)沼広	代表取締役
勝間田芳壽	(学) 東駿学園御殿場西高等学校	理事長
勝間田久嗣	二葉建設(株)	代表取締役社長
桂 英治	静岡放送	常務取締役
加藤瑠美子	(学) 加藤学園	副理事長
加藤 修一	(株)加藤工務店	代表取締役
加藤 和彦	(株)コーゲツ	代表取締役
加藤 昌利	(株)ホテル銀水荘	代表取締役社長
加藤 博彦	(株)メディアクリエイト	代表取締役
川原崎康雄	(株)マキヤ	代表取締役
河西 幸一	明德建設(株)	代表取締役
菊地 広明	大東紡エステート(株)	取締役社長
菊地 豊	伊豆市	市長
杵島 栄二	(有)高商	代表取締役
喜多 晋	静岡県沼津財務事務所	所長
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長
北村 敏廣	静岡新聞社	代表取締役専務
木戸 英壽	沼津商工会議所	専務理事
木村美都子	木村美都子税理士事務所	税理士
木宮 健二	富士常葉大学	学長
君澤 安生	(株)CF Sコーポレーション	取締役
栗原 裕康	沼津市	市長
黒崎 昇	三栄レギュレーター(株)	社長
倉田 俊彦	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター	センター長

氏 名	会 社 名	役 職
河野 貢	(株)かめや	代表取締役社長
小島し乃ぶ	三友水処理(株)	代表取締役
小滝すみ子	(株)三喜	代表取締役
後藤 全弘	(株)ゴトー	相談役
後藤 行宏	(株)ゴトー	代表取締役社長
後藤 義男	沼津魚仲買商協同組合	理事長
小林 省吾	(株)小林製作所	代表取締役会長
込山 正秀	小山町	町長
近藤 安敞	近藤鋼材(株)	代表取締役会長
近藤 良夫	近藤良夫会計事務所	所長
齋 秀	(株)東海建設コンサルタント	代表取締役
齊藤 大	伊東ガス(株)	代表取締役社長
齋藤 稔	(株)斉藤組	代表取締役社長
齋藤 哲一	三幸興業(株)	代表取締役社長
齊藤 徳男	(株)総健美	代表取締役
齊藤 弘幸	(株)東海ソフトウェア	代表取締役社長
齋藤 研一	沼津リバーサイドホテル	総支配人
齊藤 栄	熱海市	市長
斉藤 文彦	松崎町	町長
七種 精一	シードテクノ(株)	代表取締役
佐伯 隆彰	(有)佐伯新聞店	代表取締役
坂本 光司	法政大学大学院	教授
佐々木道武	大成有楽不動産(株)浜松営業所	浜松営業所長
佐藤 宗徳	(株)佐藤建設	取締役 管理部長
佐藤 秀樹	(株)サトウ商会	代表取締役
佐藤三武朗	日本大学国際関係学部	学部長
佐藤 孝行	沼津魚市場(株)	代表取締役社長
佐藤 貢一	米久ベンディング	専務取締役
佐野 茂樹	青木建設(株)	代表取締役
佐野 正幸	(有)佐野新聞店	代表取締役
佐野 武男	丸富製紙(株)	代表取締役社長
澤野 幸男	スルガカード(株)	代表取締役専務
澤入 義幸	スルガ銀行(株)	執行役員本店長
塩崎 崇	(有)塩久商店	代表取締役社長
篠原松太郎	オブリック(株)	代表取締役社長
斯波 幹和	(株)サン	代表取締役社長
庄司 清和	(株)時之栖	代表取締役会長
杉山 敏夫	(株)ホンダカーズ静岡	代表取締役
杉山 壽章	(株)杉山鉄工	代表取締役

会員名簿

氏 名	会 社 名	役 職
杉山 洋	東京海上日動火災保険株式会社静岡自動車営業部	沼津営業課長
杉山 定久	南富士(株)	代表取締役
杉浦 悌秀	(株)ユタカ	代表取締役
杉田 光秀	(株)静岡銀行沼津支店	執行役員沼津支店長
杉田 至弘	静岡新聞社・静岡放送	常勤顧問
鈴木 幸彦	清水物産(株)	代表取締役社長
須沢 隆弘	(株)東広	代表取締役
鈴木 和宏	御殿場高原ビール(株)	代表取締役
鈴木 文三	サンコー防災(株)	代表取締役
鈴木 和江	観音温泉	代表取締役社長
鈴木 道也	南駿農業協同組合	代表理事組合長
鈴木 経康	沼津情報・ビジネス専門学校	校長
鈴木 敏博	静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センター	センター長
鈴木 雅春	静岡県賀茂地域政策局	局長
鈴木 尚	富士市	市長
鈴木史鶴哉	南伊豆町	町長
須田 徳男	(株)MYコミュニケーションズ	代表取締役会長兼社長
須藤 秀忠	富士宮市	市長
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長
諏訪部恭一	沼津信用金庫	会長
諏訪部敏之	丸善工業(株)	会長
清 哲也	(株)大石組	代表取締役社長
関本 文彦	東海金属工業(株)	代表取締役会長
関 鉄雄	静岡県賀茂健康福祉センター	所長
高瀬 直樹	(株)伊豆新聞本社	代表取締役社長
高田 大輔	ニューデルタ工業(株)	代表取締役社長
田代 寿夫	(株)田代新聞センター	代表取締役
辰巳 充弘	沼津観光開発(株)	代表取締役
田中 宏明	静岡県熱海土木事務所	所長
力元 東	静岡県富士農林事務所	所長
千葉 慎二	(株)鈴木工務店	代表取締役社長
佃 弘巳	伊東市	市長
辻 明久	(有)メイク・エンタープライズ	代表取締役
土谷 直人	ニッセー防災(株)	代表取締役
土屋龍太郎	土屋建設(株)	社長
土屋 順一	東海建設(株)	代表取締役
土屋 敏博	(株)東報	代表取締役社長
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役
土屋 俊幸	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長

氏 名	会 社 名	役 職
足立 吉松	足立会計事務所	所長
土屋 誠司	(株)富士和	代表取締役会長
土屋雄二郎	雄大(株)	代表取締役
堤 親朗	(株)イズラシ	代表取締役
出口 明利	(株)デグチホームズ	代表取締役
出向 永典	積水ハウス(株)沼津支店	支店長
寺嶋 晋	マックスバリュ東海(株)	代表取締役社長
土井 宣博	(株)雅心苑	代表取締役社長
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授
轟木 裕史	(株)アルテクス	代表取締役
豊岡 武士	三島市	市長
永倉 聡	沼津通運倉庫(株)	代表取締役社長
長澤 一成	(株)耕文社	代表取締役社長
中嶋 三恵	(株)山六ひもの店	代表取締役
中村 仁	伊豆箱根鉄道(株)	代表取締役社長
中村 誠	島津急送(株)	代表取締役
永橋 克介	住友生命保険相互会社沼津支社	支社長
中西 芳弘	静岡県富士財務事務所	所長
中山 勝	(一財)企業経営研究所	常務理事
成川 昭雄	(株)エム・エス・エス	取締役
西島 昭男	(株)シード	代表取締役社長
西島 洋司	(医)親和会西島病院	理事長
新田恭一郎	(株)ホテルサンバレー	代表取締役
野間由香利	アフラック沼津支社	支社長
野村 玲三	(株)野村商店	代表取締役社長
萩原 仁	(株)JTB 中部沼津支店	支店長
花房 孝光	(株)はなぶさ旅館	代表取締役
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役会長
服部巖一郎	(株)チキリ	代表取締役社長
林 毅	SMBC日興証券(株)沼津支店	支店長
林 和子	ハヤシ工業(株)	代表取締役
原 浩之	(学)原学園専門学校白寿医療学院	理事長
原 和也	静岡新聞社・静岡放送	東部総局長
原口 茂	富士商事(株)	代表取締役
春田 和彦	西日本電信電話(株)沼津支店	支店長
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長
兵藤 真一	MOAインターナショナル	広報担当
日向 秀二	(株)日弘商会	代表取締役
福山 重紀	(株)エイワンスポーツプラザ	代表取締役

氏 名	会 社 名	役 職
藤井 明	米久(株)	代表取締役社長
藤井 武彦	西伊豆町	町長
藤浪 哲也	静岡県田子の浦港管理事務所	所長
古井 敏夫	静岡県中小企業団体中央会東部事務所	所長
古川 敏男	静岡県熱海財務事務所	所長
堀内光一郎	富士急行(株)	取締役社長
堀口 武彦	大同工業(株)	代表取締役
牧村 久夫	総合警備保障(株)沼津支社	支社長
増島 康行	静岡県沼津土木事務所	所長
松井 純	静岡新聞社・静岡放送	取締役社長
松田 達也	ネットヨタ静岡(株)	代表取締役社長
三浦 洋一	大和ハウス工業(株)沼津支店	支店長
三澤 賢治	シンフジハイヤー(株)	代表取締役
三澤 清利	特種東海製紙(株)	代表取締役社長
水崎 充	ネットヨタスルガ(株)	代表取締役社長
三津濱元一	富士通(株)沼津工場	工場長
宮本 修	(株)キクチ	代表取締役
宮尾 賢一	(株)損保ジャパン静岡支店沼津支社	支社長
峰田 武	(公財) 佐野美術館	理事長
三輪 俊城	ホテル沼津キャッスル	代表取締役
村田 潔春	(株)SBS プロモーション	代表取締役
村松 重治	静岡新聞社・静岡放送	取締役営業局長
村松 夏夫	静岡新聞社	取締役販売局長
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役
最川 治久	(株)モガワ	代表取締役会長
望月耕二郎	(学) 旭学園	理事長・校長
望月 良和	伊豆の国市	市長
望月 由郎	(株)SBS 情報システム	代表取締役社長
元村 秀樹	キンピールマーケティング(株)	営業部長
森崎 祐治	静岡コンサルタント(株)	代表取締役
森田 金清	(一社) 熱海市観光協会	代表理事
森 久人	(有)アラリシップビルダーズ	代表取締役
森 正憲	(株)安心堂沼津店	店長
森 一浩	ひばり税理士法人	代表社員
森 延彦	函南町	町長
森 貴志	静岡県東部地域政策局	局長
八重 英俊	日本興亜損害保険(株)静岡支店沼津支社	支社長
矢野 公司	野村證券(株)沼津支店	支店長
山内 倭子	(株)東興	代表取締役

[illegible]

会 員 名 簿

●県東部選出県議団 <県議会議員>

[illegible]

氏 名	住 所
橋本 一実	熱海市
小野登志子	伊豆の国市
小野 達也	伊東市
石橋 康弘	伊豆市
池谷 晴一	御殿場市・駿東郡北部
和田 篤夫	御殿場市・駿東郡北部
森 竹治郎	下田市・賀茂郡
鳥澤 由克	裾野市
高田 泰久	駿東郡南部
仁科喜世志	田方郡
曳田 卓	沼津市
杉山 盛雄	沼津市
多家 一彦	沼津市
蓮池 章平	沼津市
早川 育子	富士市
植田 徹	富士市
遠藤 榮	富士市
櫻町 宏毅	富士市
鈴木 澄美	富士市
四本 康久	富士宮市
吉川 雄二	富士宮市
宮沢 正美	三島市
遠藤 行洋	三島市

幹事・委員

幹事（50音順、敬称略）

氏名	会社名	役職	住所
遠藤 敏東	富士商工会議所	会頭	富士市
奥田 一	(株)静岡中央銀行	取締役社長	沼津市
岡野 光喜	スルガ銀行(株)	代表取締役社長	沼津市
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長	伊東市
諏訪部恭一	沼津信用金庫	会長	沼津市
土屋 俊幸	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長	沼津市
藤井 明	米久(株)	代表取締役社長	沼津市
峰田 武	(公財) 佐野美術館	理事長	三島市
三澤 清利	特種東海製紙(株)	代表取締役社長	駿東郡
矢田部正巳	三嶋大社	宮司	三島市

＜地域政策局＞

鈴木 雅春	静岡県賀茂地域政策局	局長
森 貴志	静岡県東部地域政策局	局長

＜アドバイザー＞

大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所所長
坂本 光司	法政大学大学院	教授
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授

＜常任顧問＞

篠原 光秋	静岡新聞社・静岡放送	取締役総務局長
谷川 治	静岡新聞社・静岡放送	取締役浜松総局長

運営委員（50音順、敬称略）

氏名	会社名	役職	住所
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長	沼津市
池田 誠	池田病院	院長	駿東郡
宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長	沼津市
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役	三島市
片山 劼	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長	伊東市
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役社長	裾野市
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長	駿東郡
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役	下田市
西島 昭男	(株)シード	代表取締役社長	三島市
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役会長	沼津市
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長	沼津市
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役	三島市

＜ TESS 構成員＞

西島 昭男	(株)シード	委員長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	顧問
羽野 久雄	羽野水産(株)	顧問
宇野 統彦	(株)桃中軒	委員
小野 徹	小野建設(株)	委員
諏訪部照久	(株)スワベ商会	委員
青山 茂	(株)シード	研究員
大石 人士	(一財) 静岡経済研究所	研究員
中山 勝	(一財) 企業経営研究所	研究員
芦川 敏洋	静岡県東部地域政策局	研究員



2011年度を振り返って

サンフロント21懇話会 運営委員長
あさひ総合法律事務所 所長

井口 賢明

2011年度は東日本大震災による混乱の中で復旧、復興への迅速な対応が求められるとともに、家族や地域の「絆」の大切さを痛感させられた一年でした。

地震による大津波が一瞬のうちに多くの命と、それまでの暮らしや生業（なりわい）、思い出までも奪い去ってしまいました。東京電力福島原発事故の影響で、いまなお故郷に帰れない人がたくさんいます。被災地の皆様方にあらためてお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

大規模災害が発生した場合、市町の行政運営に連携が欠かせません。福島県内では原発事故に伴い役場ごとの自治体に避難を余儀なくされた町村がありました。一部の町村は本来の庁舎に戻り、業務を再開していますが、小さな自治体が大規模災害に単独で対応することは難しく、特に住民の安全・安心を担う防災、医療・福祉は行政間で情報の共有化が欠かせません。

サンフロント21懇話会は2011年度、静岡経済同友会東部協議会の呼び掛けに応じ、県東部10市町（沼津、三島、御殿場、裾野、伊豆の国、伊豆市、小山、長泉、清水、函南町）を対象としたグランドデザインの策定に向け、地元商工会議所、商工会などの経済団体とともに動き出しました。県東部には中部の静岡市や西部の浜松市のように突出した大規模都市が存在しないため、各自治体が個性を発揮しながら、緩やかなネットワークを形成する都市連合が地域の発展にふさわしいとの考えは、サンフロント21懇話会設立の原点でもあります。

時代環境は大きく変化しています。例年にも増して会員皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

